



学校だより

# 「たぶの木」



令和4年12月

鹿児島市立武岡台小学校

児童数253名

## 魅せたね「自分の中の一等賞」

校長 榊 まゆみ

2学期は一年の中で一番長い81日、夏・秋・冬と3つの季節を過ごしました。コロナ禍でも、多くの行事を行うことができたことに幸せを感じます。

「行事で成長する子供たち」を象徴するような12月6日の持久走大会、1・2校時の下学年は、気温が上がらず寒い中でしたが、どの学年も一生懸命走りました。3・4校時は上学年、自分自身と向き合いながら、また、同じペースの友達との駆け引きも…今までの自分を超越するため、1年生から6年生どの子も「自分の中の一等賞」を目指し、出せる力の限りをがんばりぬき、素晴らしい走りを見せました。歩いたり止まったりする子もほとんどなく、やり切った子供たちのすがすがしい顔、最後まで頑張りぬく姿は本当に美しいです。武岡台小の子供たちの底力を垣間見た日でした。やればできる！まだまだ伸びしろがあると確信しました。さすが武岡台の子供たちです。

朝早くから寒い中、応援に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

### 全国人権週間

12月4日から10日は全国人権週間、給食時間の放送を利用して次のような話をしました。

- ◎ 人権とは、誰もがみんな一人の人間として命が守られ、社会のルールの中で明るく楽しい生活を送る、生まれながらにもっている大切な権利であること
- ◎ もし、いじめを受けて心や体が傷ついた人がいたら、それは大切な人権を傷つける大きな問題であること
- ◎ 困っている人や悲しい思いをしている人に寄り添い声をかける子が増えてほしいこと
- ◎ 先生方は全員みんなの味方であること

☆ 互いの良さや違いを認め合い、ますます温かい心の子供でいっぱい武岡台小になりますよう願ってやみません。



### 歩育のすすめ



鹿児島県の小学生の体力・運動能力が全国平均より低い状態が続いています。外遊びが減るなど様々な要因があると思われます。本校も例外ではありません。そこで、手軽に体力や運動能力の向上に役立つこととして「歩く」ことが挙げられます。

「歩育(ほいく)」として幼児教育などではすでに取り入れられているところも多くあります。

ご家庭の事情はいろいろあるでしょうが、怪我や病気を除いて「歩いて登下校」を基本にしてみませんか。歩くことで自然や社会に触れ、感性が豊かになる。五感を開き呼吸を深め脳を活性化。外気に触れ皮膚が強くなるなど、いいことがいっぱいです。

ちなみにハイランド公民館やおおとり幼稚園辺りから学校まで、おおよそ300mです。

この2学期、行事に向けた日々の積み重ね、行事を終えた達成感、一人一人の成長の速度は違っても、それぞれががんばった81日間をいつも温かく見守りご支援ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。



よいお年をお迎えください。

